

開講年度・学期	2017 年度・前期	授業形態	講義
科目名	法学政治学計量分析	科目ナンバー	JACOM3303
英語表記	Quantitative Methods in Law and Political Science	担当教員	宋 財法
単位数	2		

科目の主題

本講義は法学および政治学における理論・仮説を量的なデータを用いて検証する方法を習得する。

授業の到達目標

本講義は、1) 自分の理論・仮説を検証するためにどのようなデータが必要かに関する理解、2) 適切な統計的手法の理論を理解した上での実行、3) 分析結果の正しい解釈ができるようになることを目的とする。

授業内容・授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	データの構造と SPSS の基本的な使い方
第3回	記述統計 (1): 代表値と値の散らばり具合
第4回	記述統計 (2): データの可視化
第5回	仮説検定 (1): 仮説検定の手順と大数の法則
第6回	仮説検定 (2): 中心極限定理と p 値
第7回	独立性の検定 (1): クロス表とカイ二乗検定
第8回	独立性の検定 (2): 変数の統制と三重クロス表
第9回	平均値の比較 (1): 2 群の比較 - t 検定
第10回	平均値の比較 (2): 3 群以上の比較 - ANOVA
第11回	相関分析
第12回	回帰分析 (1): 単回帰分析
第13回	回帰分析 (2): 重回帰分析と発展形
第14回	期末レポート執筆のためのリサーチデザイン
第15回	期末レポートの執筆と質疑応答

以上の内容は授業の進捗状況により変更される可能性がある。

事前・事後学習の内容

授業の前日に、次回の講義に関する資料を Web サイトに掲載する。予習は必須ではないが、講義の性質上、復習は強く推奨する。

評価方法

出席 30%、レポート 70% (授業への参加・貢献度による加点あり)

受講生へのコメント

法学政治学における計量的手法に興味のある学生の受講を歓迎します。出来る限り数式は使わず、直感による理解を重視するため、数学的な知識は必要としません。ただし、パソコンを用いた実習が中心であるためパソコンの基本的な使い方を知っていることを前提とします。本講義では統計ソフトとして SPSS を使いますが、その他のソフト (R, Stata, Python) を使いたい学生にも対応します。

教材

なし (参考書は授業中、適宜に紹介する)

その他

統計学は各概念に対する理解の積み重ねが重要です。分からないことがあったら積極的に質問してください。授業後の質問もお受け付けします（連絡先・オフィスアワーは授業中公開）。

担当教員のホームページ: <http://www.jaysong.net>

教室の定員によって、受講人数が限られる。履修希望者が45人を超える場合は抽選を行うので、受講を希望する学生は必ず第1回目の授業に出席すること。

履修可能最低年次

3年次生以上